

## 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成30年 3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年 6月30日)
<b>資産の部</b>		
現金及び預貯金	23,778	20,926
有価証券	145,349	150,090
有形固定資産	2,407	2,149
無形固定資産	6,196	6,908
その他資産	17,149	15,745
繰延税金資産	9,480	9,694
資産の部合計	204,362	205,513
<b>負債の部</b>		
保険契約準備金	156,612	160,400
支払備金	39,535	39,550
責任準備金	117,077	120,849
その他負債	11,553	9,476
未払法人税等	2,363	1,294
その他の負債	9,190	8,181
退職給付引当金	1,667	1,716
賞与引当金	1,132	560
特別法上の準備金	206	214
価格変動準備金	206	214
負債の部合計	171,173	172,367
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	3,389	3,389
利益剰余金	7,872	8,182
株主資本合計	31,261	31,572
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	1,927	1,574
評価・換算差額等合計	1,927	1,574
純資産の部合計	33,189	33,146
負債及び純資産の部合計	204,362	205,513

## 四半期損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
経常収益	28,043	29,702
保険引受収益	27,571	29,067
(うち正味収入保険料)	27,556	29,051
(うち積立保険料等運用益)	15	16
資産運用収益	453	622
(うち利息及び配当金収入)	334	340
(うち有価証券売却益)	134	297
(うち積立保険料等運用益振替)	15	16
その他経常収益	18	12
経常費用	25,668	25,900
保険引受費用	19,000	19,310
(うち正味支払保険金)	12,180	13,076
(うち損害調査費)	1,824	1,963
(うち諸手数料及び集金費)	492	483
(うち支払備金繰入額)	366	15
(うち責任準備金繰入額)	4,137	3,771
営業費及び一般管理費	6,666	6,590
その他経常費用	0	0
経常利益	2,375	3,801
特別利益	-	-
特別損失	7	10
固定資産処分損	-	2
特別法上の準備金繰入額	7	7
価格変動準備金繰入額	7	7
税引前四半期純利益	2,368	3,790
法人税及び住民税	884	1,144
法人税等調整額	202	76
法人税等合計	681	1,068
四半期純利益	1,686	2,722

## 当四半期の損益状況

(単位：百万円)

期 別		前第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)	比較増減	増減率
科 目					
元受正味保険料(含む収入積立保険料)		27,260	28,802	1,541	5.7 %
(元受正味保険料)		(27,260)	(28,802)	(1,541)	(5.7)
経	保険引受収益	27,571	29,067	1,495	5.4
	(うち正味収入保険料)	(27,556)	(29,051)	(1,494)	(5.4)
常	保険引受費用	19,000	19,310	309	1.6
	(うち正味支払保険金)	(12,180)	(13,076)	(895)	(7.4)
	(うち損害調査費)	(1,824)	(1,963)	(139)	(7.6)
	(うち諸手数料及び集金費)	(492)	(483)	(9)	(1.9)
	資産運用収益	453	622	168	37.2
損	(うち利息及び配当金収入)	(334)	(340)	(5)	(1.8)
	(うち有価証券売却益)	(134)	(297)	(163)	(121.9)
	資産運用費用	-	-	-	-
	営業費及び一般管理費	6,666	6,590	76	1.1
(保険引受に係る営業費及び一般管理費)		(6,651)	(6,574)	(76)	(1.2)
その他経常損益		17	12	5	31.8
益	経常利益	2,375	3,801	1,425	60.0
	(保険引受利益)	(1,918)	(3,182)	(1,263)	(65.9)
特別損益	特別利益	-	-	-	-
	特別損失	7	10	3	42.6
	特別損益	7	10	3	-
税引前四半期純利益		2,368	3,790	1,422	60.1
法人税及び住民税		884	1,144	260	29.5
法人税等調整額		202	76	126	-
法人税等合計		681	1,068	387	56.8
四半期純利益		1,686	2,722	1,035	61.4
諸比率	正味損害率	50.8%	51.8%	/	/
	正味事業費率	25.9%	24.3%	/	/

(注) 1. 保険引受利益 = 保険引受収益 - (保険引受費用 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ± その他収支  
 なお、その他収支は自動車損害賠償責任保険等に係る法人税相当額などであります。

2. 諸比率は次の算式によっております。

$$\text{正味損害率} = (\text{正味支払保険金} + \text{損害調査費}) \div \text{正味収入保険料} \times 100$$

$$\text{正味事業費率} = (\text{諸手数料及び集金費} + \text{保険引受に係る営業費及び一般管理費}) \div \text{正味収入保険料} \times 100$$

## 種目別保険料・保険金

### 元受正味保険料

(単位：百万円)

種 目	期 別	前第1四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)			当第1四半期累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)		
		金 額	構成比	増減率	金 額	構成比	増減率
火 災		52	0.2	15.4	54	0.2	4.2
海 上		-	-	-	-	-	-
傷 害		2,178	8.0	0.6	2,163	7.5	0.7
自 動 車		25,029	91.8	11.1	26,583	92.3	6.2
自動車損害賠償責任		-	-	-	-	-	-
合 計		27,260	100.0	10.0	28,802	100.0	5.7

### 正味収入保険料

(単位：百万円)

種 目	期 別	前第1四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)			当第1四半期累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)		
		金 額	構成比	増減率	金 額	構成比	増減率
火 災		4	0.0	40.6	4	0.0	16.5
海 上		0	0.0	-	-	-	-
傷 害		2,229	8.1	2.3	2,221	7.6	0.4
自 動 車		24,969	90.6	11.1	26,524	91.3	6.2
自動車損害賠償責任		352	1.3	20.4	300	1.0	14.8
合 計		27,556	100.0	10.0	29,051	100.0	5.4

### 正味支払保険金

(単位：百万円)

種 目	期 別	前第1四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)			当第1四半期累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)		
		金 額	増減率	正味損害率	金 額	増減率	正味損害率
火 災		0	43.3	236.6	1	62.7	236.4
海 上		2	-	-	1	26.8	-
傷 害		645	5.9	32.2	691	7.1	34.3
自 動 車		11,219	3.8	51.9	12,052	7.4	52.5
自動車損害賠償責任		311	3.7	88.4	329	5.5	109.5
合 計		12,180	3.8	50.8	13,076	7.4	51.8

## 単体ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
(A) 単体ソルベンシー・マージン総額	54,244	58,519
資本金又は基金等	28,849	31,572
価格変動準備金	206	214
危険準備金	109	112
異常危険準備金	20,970	21,896
一般貸倒引当金	-	-
その他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ損益(税効果控除前)	2,409	1,967
土地の含み損益	-	-
払戻積立金超過額	-	-
負債性資本調達手段等	-	-
払戻積立金超過額及び負債性資本調達手段等のうち、 マージンに算入されない額	-	-
控除項目	-	-
その他	1,698	2,757
(B) 単体リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_2)^2+(R_3+R_4)^2+R_5+R_6}$	13,871	14,128
一般保険リスク (R <sub>1</sub> )	12,395	12,644
第三分野保険の保険リスク (R <sub>2</sub> )	-	-
予定利率リスク (R <sub>3</sub> )	114	116
資産運用リスク (R <sub>4</sub> )	1,712	1,745
経営管理リスク (R <sub>5</sub> )	305	310
巨大災害リスク (R <sub>6</sub> )	1,036	1,036
(C) 単体ソルベンシー・マージン比率 $[(A)/\{(B) \times 1/2\}] \times 100$	782.1 %	828.4 %

注．「単体ソルベンシー・マージン比率」とは、保険業法施行規則第86条（単体ソルベンシー・マージン）および第87条（単体リスク）ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出された比率です。

なお、当第1四半期会計期間(平成30年6月30日)の単体ソルベンシー・マージン比率は、巨大災害リスクの基礎数値の一部を前事業年度(平成30年3月31日)と同値とみなすなど、計算の一部を簡便化して算出しております。

### < 単体ソルベンシー・マージン比率 >

- ・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。
- ・こうした「通常の予測を超える危険」を示す「単体リスクの合計額」（上表の(B)）に対する「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」（すなわち単体ソルベンシー・マージン総額：上表の(A)）の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたものが、「単体ソルベンシー・マージン比率」（上表の(C)）であります。
- ・「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。
 

保険引受上の危険 （一般保険リスク） （第三分野保険の保険リスク）	：	保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険（巨大災害に係る危険を除く）
予定利率上の危険 （予定利率リスク）	：	実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険
資産運用上の危険 （資産運用リスク）	：	保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等
経営管理上の危険 （経営管理リスク）	：	業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記 ~ 及び 以外のもの
巨大災害に係る危険 （巨大災害リスク）	：	通常の予測を超える巨大災害（関東大震災や伊勢湾台風相当）により発生し得る危険
- ・「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」（単体ソルベンシー・マージン総額）とは、損害保険会社の純資産（社外流出予定額等を除く）、諸準備金（価格変動準備金・異常危険準備金等）、土地の含み益の一部等の総額であります。
- ・単体ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。